

まちネットワークよりい
まちネット寄居
私たちが発達しよう 私たちのまちづくり

さあ

手をつなご!

まちネット 寄居通信『さあ 手をつなご!』はみなさんの支援力がエネルギー源

わたし発で つくっていく地域福祉へ

寄居町の高齢化率は（65歳以上）30%近くの現状、少子高齢化は加速度的に進んでいます。誰もが抱える不安。この先この地域で安心して暮らしていけるのか。漠然とした不安を抱えているだけでは何も解決しません。そこで寄居のネットでは、まずはネット会員に呼び掛け、将来へのあるいは今抱えている不安や状況など出し合うことにしました。

6月に有志が集まり、様々な情報交換や思いを語り合いました。参加者からの、仕事としてヘルパーをしながら義母の介護の生活、見送った母の介護経験、民生委員を受任したことで分かった地域の実情などの話から、実に様々なことが見えてきました。そのなかで、公共交通の少ない寄居町にあって、現在は自分で自家用車を運転し自由に動いているが、この先移動の自由が失われることが一番の不安。町内を走るデマンドタクシー（乗り合いタクシー）も、3日前予約からやっと1時間前の予約可能になりましたが、その分利用者も急増し、今や思うように予約が取れず往復での利用も難しくなっています。町内だけの限定で近隣の大きな病院へは使えないのは何とかならないのか。寄居庁舎の屋上にあった展望レストランが閉鎖されてから数年、未だ空きスペースのまま、もっと町民が活用できないか、などの実態も見えてきました。もちろんこれをクリアするには、いろいろな課題があるこ



とは承知していますが、使い勝手の良いサービスでないと結局活用されなくなってきます。自助努力、共助だけではなく仕組みづくりも不可欠です。

寄居町には、社会福祉協議会を中心に定期開催のサロンが6か所あります。9月には、そのうちの一つ鉢形城歴史館内にある「お城 de カフェ」の見学を計画しています。まずは知ることからスタート。そしてこの先何が必要なのか、そのためにはどうしたらよいか、皆で知恵を出し合い、提案し、私発の地域福祉づくりへと進めていきたいと思えます。報告 大北秀子

ご参加ください

お城 de カフェ見学会

●9月21日（木）

●集合 午後1時30分

鉢形城歴史館事務所前に現地集合

「憲法カフェ・パフェ」開催しま～す

9月の末の日曜日に生活クラブ寄居支部との共催で「憲法カフェ・パフェ」を計画中です。

「あすわか」(明日の自由を守る若手弁護士の会)から弁護士さんを講師にお招きして、憲法の基本・憲法改正によって変化する私たちの暮らし・国民投票、について優しく解説して頂きます。今回は特に子育て中の30代、40代の世代の方にも気軽に参加してもらえそうな企画にしたいと考えています。そう遠くない将来、成人になる子どもたちを持ち、ましてや成人年齢は18歳に引き下げられることになり、不安を抱えている親御さんの声も聞こえてきていますから、難しくない基本的なことから知ってもらえたらと思います。もちろん幅広い世代の方に向けての発信ですから、多数ご参加下さい!

ところで、なんでパフェがくつつくの・・・?おおお!よくぞ聞いて下さった。単なる駄洒落じゃないんです。ホントにパフェを作ってみなで、溶けるアイスに焦りながらも美味しいね～などと言いつつ、実は少人数のグループになって疑問、感想、意見、エトセトラ・・・を話し合ってみよ～と。そんな趣向はどうでしょかと・・・。

然るに、暫定キャッチコピーは、「分かれば、そんなに難しくないんです的な「憲法」を「あすわか」の〇〇さんに、サラッと優しく解説してもらってから、ぱぱっとパフェを作って食べよ～」。どうぞご期待下さいね。

K.Y



「(仮称)放射能汚染防止法」制定に関する国への意見書提出を求める請願

まちネット寄居会員の皆様に署名協力をしていただいた県議会への請願が6月埼玉県議会へ提出され、7月2日に県環境農林委員会に付託され審議されました。最終署名者数は9,094筆。紹介議員は、立憲・国民・無所属の会3名。

7月2日の委員会ではこの請願の趣旨説明を申請しましたが不要だと否決され、委員会ではこの請願については立憲、共産の賛成意見、自民の反対意見の後採決が8分で行われ、単独過半数を占める「自民党」会派の反対で不採択となりました。賛成は立憲、共産の2名、反対は自民6名、公明1名、県民1名でした。

主な反対意見は

- ① 主要国や国際機関において一般的環境における放射性物質の基準を設定していない。
- ② 一般的環境における基準は改めて不要である、と見解が出されており、そのうえで、国は動向を注視し、情報収集しながら必要な場合には検討を行うとしているので、国の検討経過を見守るべきである。

市民の皆様のために
働きます

とか何とか
言っていた
よね



1 昨年、寄居町議会へ同様の陳情書提出した際には、国レベルの問題を地方議会が口をはさむことは如何なものかとされたが、私たち生活者の置かれた状況を全く意に介さず、だれのための議員なのかとここでも思い知らされる。それでも諦めたら終わり、もっともっと市民の声を大きくしていくしかない。

埼玉県知事への要望書回答

請願署名と同時に下記の要望書を埼玉県知事へ提出しました。(生活クラブ埼玉と埼玉県市民ネットワークの連名で提出) 要旨は

1. 埼玉県内の公共工事に原発事故発生地を除染土を利用しないでください。
2. 県内市町村の除染土管理の実態を調査し適正な情報提供指導を行ってください。

要望書の回答が出ました。

- ① 各市町の除染土の保管・管理状況については指導はできないが調査する。
- ② 原発事故当該地の除染土を公共工事に再利用する件は、国から何も情報がないので現時点では答えられない。(建設管理課)

除染土の管理は、今後建設などで掘り返されることがある場合などの危険性を考え台帳作成など何らかの対応をしておくことが必要なのではないかと。そして何より、市民、県民への情報提供が肝心。私たちも強く請求していく姿勢が必要。

この一連の経過から、改めて地方からの声を大きくしていくことの大切さを思い知らされる。しつこく声を上げていくことも一策。



ジャガイモの花ってすごくきれい



お化けホウレンソウが柔らかい



土の中からこんな楽しいレッドムーン

家庭菜園講座

春の菜園講座が元気にスタートです。新しい仲間も増えています。畑の恵みと大地からパワーをもらって、生き生きとした菜園仲間の様子をお伝えします。





すくっと立ったねぎぼうず



バナナじゃないよ、黄ズッキーニ

お知らせ

ネット会員募集

毎日の暮らしの中で、感じていること、困っていることから出発。一人ではなく皆で話していきましょう。私発が原点です。安心して暮らせる地域を私たちの手で。ぜひ、お仲間になってください。

問合せ：大北（080-5933-7154）



おすすめ図書

ぜひご一読ください

●改憲・戦争に反対する12の理由

社会運動No.430

発行：市民セクター政策機構

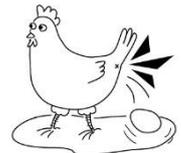
●新国防論 9条もアメリカも日本を守れない

伊勢崎賢治著 毎日新聞出版

木曜野菜市



今年も「おかず畑」の増谷さんから旬の新鮮な野菜たちを、鷹巣の大島さんよりおいしい昔ながらの卵を提供していただきました。本当にありがとうございました。この半年間で41,160円となりました。



編集後記

2018年も7月に突入。森友、家計問題で揺れた数か月は、潮が引いてしまったように忘れ去られようとしている。今の社会のひずみを変えていくには政権交代しかないと思っている人もいるはず。森友、家計問題が政権交代へつながるのではと淡い期待感を持った人たちもたくさんいたのでは…。が、そう簡単には事は進まない。マスコミのお祭り騒ぎだけが印象に残った。この半年間の目まぐるしく変わる時事報道。その後の検証は継続しない。熱しやすく、冷めやすく作られていく報道は、あまりにも無責任。報道をうのみにしてはいけななしみじみ感じる。

この数年来の大自然の猛威は今年も容赦なく襲来。多くの方が犠牲になり心が痛い。毎年繰り返される豪雨の原因は、私たち人類が作り出した温暖化だ。経済優先などと言ってもらえない。命あっての生活だ。